

川俣町山木屋地区復興メガソーラー発電所が竣工！

ー 川俣町「復興まちづくり」基本計画に基づくスマートコミュニティ構築事業の第1弾 ー

戸田建設(株) (社長：今井雅則) は、福島県川俣町 (町長：古川道郎) と共同して『川俣町山木屋地区復興まちづくり』基本計画』を策定し推進しています。この計画では避難指示解除準備区域に指定されている川俣町山木屋地区でのスマートコミュニティ構築事業が提案されています。

2015年8月24日に竣工を迎えた「川俣町山木屋地区復興メガソーラー発電所」は、この事業の皮切りとなるものです。発電所は、川俣町と戸田建設、町内企業等が共同出資して設立した合同会社※¹「かわまた復興発電合同会社 (代表：古川道郎)」が事業主となります。

同日開催された式典には、経済産業省をはじめとした来賓の皆様と、合同会社の出資者7名 (川俣町、戸田建設(株)、(株)東芝、渡辺エンジニアリング(株)と町内企業3社 (株)川俣精機、(株)大弥商店、(有)杉田屋電建工業) が出席しました。

全員が無事故での竣工を祝い、今後20年間の安定的な電力供給を祈願しました。発電所の特徴と概要は以下のとおりです。

1. 避難指示解除準備区域における補助金を活用したメガソーラー発電所

川俣町山木屋地区は避難指示解除準備区域であり、現在も居住は制限されている地域です。この施設は、この地区でたばこ畑、水田等として使われていた約3.6haを事業用地とし、地主の協力を得て活用した、川俣町における初めてのメガソーラー発電所です。事業実施に当たり、事業費の1/3に「再生可能エネルギー発電設備等導入促進復興支援補助金 (半農半エネモデル等推進事業)」を充当しており、この補助金を活用して竣工するメガソーラー発電所は全国で初めてとなります。

2. 当社の役割

当社は2012年度より、川俣町の「復興まちづくり」基本計画に基づくスマートコミュニティ構築事業を支援してきました。この発電所プロジェクトについても、「かわまた復興発電合同会社」の出資者の一員として参加するとともに、基本計画の段階から技術的サポートをしてきました。

3. 川俣町復興発電メガソーラー発電所の仕様

- ・ 場所 福島県伊達郡川俣町山木屋細畑東山他
- ・ 発電容量 モジュール容量 2.17MW (2,170kW) PCS容量 1.925MW 東芝製パネル 250W×8,680枚
- ・ 工事期間 2014年10月1日～2015年7月31日
- ・ 事業期間 2015年7月24日～2035年までの20年間
- ・ 売電価格 32円 (税別)
- ・ EPC※²業者 香野建設(株) (川俣町)

※1 合同会社：出資持ち分の割合に関わらず、自由に配当の利益配分ができる法人格を持った会社

※2 EPC：設計 (Engineering)、調達 (Procurement)、建設 (Construction) を請け負う業務

全景写真



敷地内看板

